

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2019年10月1日 発行

■ 本号の内容

- 福島第二 廃炉の概要について
- 発電所の業務をご紹介します
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 地域とともに 富岡漁港が8年4ヵ月ぶりに再開しました
- 発電所データBOX

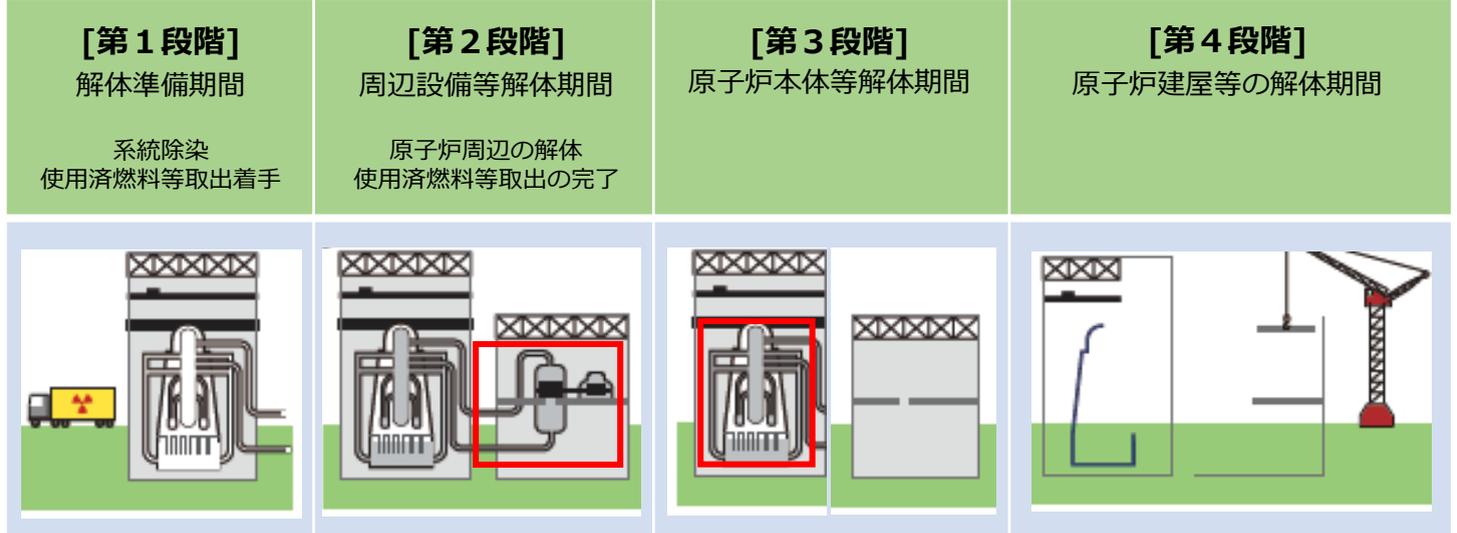


福島第二廃炉の概要について

7月31日、当社は福島第二原子力発電所の全号機（1～4号機）の廃炉を決定しました。一般的な廃炉の流れや廃炉作業着手までの手続きについて、ご説明いたします。

一般的な廃炉の流れ

- 原子力発電所の廃炉は、通常4段階に区分し、段階的に実施します。



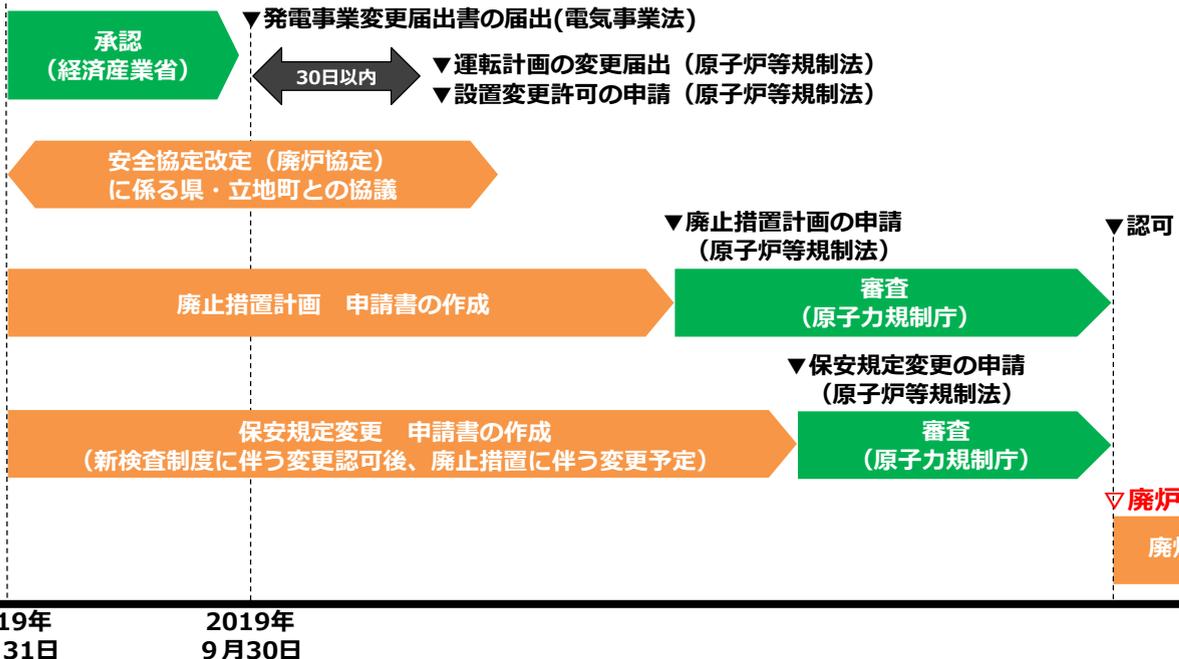
※ 福島第二全4基の廃炉を終えるには、福島第一の廃炉と並行することを踏まえ、40年を超える見通しとなっております。できるだけ工程の短縮に努め、安全・安心を第一に廃炉作業を進めてまいります。

廃炉決定以降の主な手続きについて

- 9月30日、電気事業法に基づき、同日を廃止日とした発電事業変更届出書を経済産業大臣へ提出しました。今後、運転計画の変更届出などの手続きを進めてまいります。
- 具体的な廃炉の計画については「廃止措置計画」を作成してまいります。保安規定の変更を含め、原子力規制庁へ申請し、認可が得られたのち、廃炉作業に着手することとなります。
- 廃止措置計画の内容等につきましては、地域の皆さまに丁寧にご説明のうえで、ご理解・ご協力を賜りながら進めてまいります。

▽廃炉決定

▼廃炉会計の申請（電気事業会計規則等）



発電所の業務をご紹介します

今回は
総務部 資材グループです

資材グループは、発電所の運営に必要な資機材や工事などを発注する契約を行う他、緊急時に備え貯蔵している資機材（動力用ケーブル・電動機等）の管理や、電源確保に備え配備しているガスタービン発電機車をはじめ業務車両の法定点検・整備の管理を行っています。



動力用ケーブルの布設（震災時）



動力用ケーブルの管理



ガスタービン発電機車（点検時に備え2台配備）

資機材・業務車両を適切に管理し、緊急時に備える

私は資機材管理と業務車両管理を担当しています。

発電所の緊急時に備え貯蔵している動力用ケーブル・電動機等の資機材は、倉庫などで保管し、定期的に点検を行っています。

業務車両の法定点検・整備の際には、車両のリース会社や点検をお願いしている整備会社とのコミュニケーションを大切にし、連携しながら車両の点検日を定めています。

発電所の資機材・業務車両を適切に管理し、緊急時に発電所の復旧が迅速に行えるよう、今後も努めてまいります。



総務部 資材グループ
三橋 徹
(いわき市出身)

発電所構内の空間線量

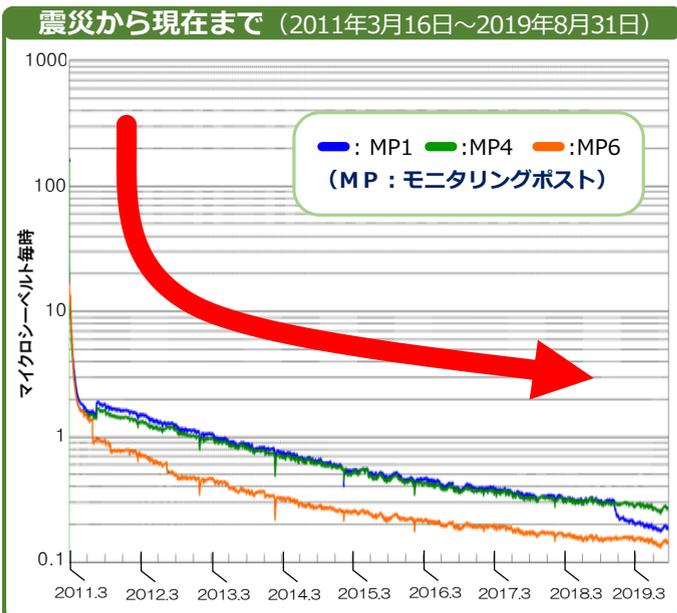
（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2019年9月23日 時点

0.08 [MP7] ～ 0.29 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（帰還困難区域含む）	0.07 ～ 1.79	楢葉町	0.04 ～ 0.23
広野町	0.05 ～ 0.17	川内村	0.05 ～ 0.28

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より（2019年9月23日 時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	0.10	ソウル（韓国）	0.12
上海（中国）	0.59	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：福島県放射能測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機

富岡漁港が8年4ヵ月ぶりに再開しました

7月26日、富岡町仏浜の富岡漁港が8年4ヵ月ぶりに再開し、福島県内の漁港10ヵ所全てが利用可能となりました。

式典に先立ち、色とりどりの大漁旗を掲げた漁船による帰港パレードが行われた後「富岡漁港漁船帰港式並びに富岡町共同利用施設使用開始式」が開かれました。



港内の防波堤や岸壁の復旧工事が完了し、漁具を保管する共同利用施設や漁船の洗浄などを行う上架施設が整備されました。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,342人*です。(2019年8月1日現在)
*1日あたりの入構者数は約900~1,100人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	376人	1,611人	1,987人 (85%)
県外	65人	290人	355人 (15%)
合計	441人	1,901人	2,342人 (100%)

編集後記

7月31日に福島第二原子力発電所の廃炉が決定しました。

廃炉の進め方等については、これからも地域の皆さまに分かりやすくお伝えしていくとともに、この地元で生まれ育った私自身、地域のためにできることに尽くしていきます。 【文】



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃炉作業を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時 ~ 午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)